



梓川。御浜。交流の輪

8月7日～9日までの3日間、梓川小学校5・6年生の児童22人が三重県御浜町を訪れ、御浜町の児童11人と交流を深めました。

参加児童の感想文(抜粋)
交流会で楽しかったこと

私は、この交流会で楽しかった出来事が三つあります。

一つ目は、部屋です。最初に部屋に入ったとき御浜町の子どもと仲良くできるかとても不安でした。でも自己紹介をしたりしていると自然に仲良くなっていく良かったです。



二つ目は太地のくじら博物館です。おみやげと友達におそろいのストラップを買いました。

ました。このストラップがずっと友情の証になるといいなと思います。

三つ目はみかん狩り体験です。ネットに自分の見つけたみかんを入れたり、食べたりして、とても楽しかったです。とったみかんはとても甘くておいしかったです。この他にも楽しかったことが、たくさんありました。海水浴やバスの中で食事などいろいろありました。が、やっぱり一番楽しかったのは、みんなで泊まった部屋の中です。そして子どもだけで二泊三日は初めてだったので、よけいに楽しかったです。

三日目のおわかれの時には、ほとんどの人が涙を流していました。もういつ会えるかなんて分からないし、もしかしたら一生会えないかもしれない。そう思うと私も自然と涙がでてきました。この出会いを忘れ



ないようにしたいです。そして、たくさん手紙を送って、年賀状も送って直接会えなくても、手紙でお話ししたいです。
「忘れられない親友…」

私は、五人の友達ができました。私と同級生でとても気があいて、会話もすごく盛り上がりました。海でいっしょに泳いだり、みかんをいっしょに採ったりと、とても楽しい思い出をつくることができました。二泊三日なんて、あつという間に過ぎてしまい、まだ御浜町にいたいという気持ちがたくさんありました。

私の目標は、「友達たくさん思い出たくさん！」です。この目標のとおり、めったに会えない友達と、心に残る思い出がたくさんたくさんできました。友達との別れがやってきました。大の親友の子が、急に泣き始めました。「ありがとう。ありがとう。」と、私に言っ

〈主な交流会日程〉

- 【1日目】**
対面式、箸づくり体験、パーベキュー(夕食)
- 【2日目】**
太地くじら博物館見学、海水浴、天体観測
- 【3日目】**
みかん狩り体験、解散式



きました。その言葉を聞いて、私も思わず泣きそうになりました。手紙をいつでも送れるように、住所も交かんし、さっそく手紙を書きました。帰りのバスに乗り、とても、さびしくなりました。バスの中では、涙があふれそうでしたが、涙をこらえ、笑顔いっぱい手をふりました。

リーダー研修会

梓川地区子ども会育成会では、6月16日(土)と30日(土)にリーダー研修会を開催しました。この研修会は、梓川地区の小学5、6年生を対象に、集団生活を通じて、仲間づくりをしながら自分たちの力で進めることを目的としています。

一回目の研修会では、6班に分かれて、調理実習を行いました。班ごとに献立を考え、買い物に行き、お好み焼きやカレーなどを作りました。

二回目の研修会では、御浜・梓川ふれあい交流に向けて、双方の違いを学ぶ学習会を行いました。気候や文化、特産物など、資料を参考に、班ごとまとめて発表しました。限られた時間の中で話し合い、模造紙にまとめ、発表する姿がみられ、子ども会リーダーとしての自覚と資質が養われた、研修会になりました。



梓川の夏の風物詩

梓川夏祭り

松本水輪花火大会と同時開催される梓川夏祭りには好天が必須です。迷走台風十二号の影響で一日順延となり、翌7月29日(日)に松香寮を会場に、梓川夏祭りが開催されました。

当日は地区内外から大勢の方が来場され、この花火大会が梓川波田だけにとどまらず、松本市域全体のイベントとして定着しつつあることを感じます。



第22回 松本水輪花火大会



澄んだ歌声と迫力あるアコースティックギターの演奏で、観客を魅了しました。

そして、午後八時から梓川太鼓十八会のカウントダウンに合わせて、花火がスタートしました。打ち上げられた約7千発の花火では、今年のテーマ「四季の華火」にふさわしい、四季折々の表情を多彩な色や形の花火で、夏の夜空を鮮やかに彩りました。

下立田町会お盆の集い

8月14日(火)に「下立田町会お盆の集い」が開催されました。

集いでは、射的、ビンゴゲーム、マジックショーなど、子ども達が楽しめるイベントや、チャリティーバザーも開催され、町会内の大勢の方々が賑わっていました。

また、出店では、例年用意している生ビール、酎ハイ、焼き鳥、枝豆、フランクフルトに



加えて、今年は初めてクレープを用意したところ、子ども達や女性の方にも、とても人気があり、あつという間に売り切れしました。

下立田町会は15組、185戸程あります。同じ町会内に住んでいても、組が異なるほとんどが話する機会がありません。この集いを通じて、多くの地域住民と会話を交わすことができました。

住民と会話を交わすことができました。町内会の親睦が深められました。



梓川地区一斉防災訓練 もしもの災害に備えて

午前8時、防災行政無線のサイレンで訓練が始まりました。ご近所と隣組で安否確認をしてから各町会所定の一時避難場所へ集合しました。全戸の安否確認をした後、町会の役員と担当者は、梓川支所の災害対策現地本部にて町会全体の安否状況の取りまとめ、報告と防災訓練反省会が実施され、また町会毎に訓練が行われました。

近年、地震のみならず各地で水害や突風などの自然災害が多発しており、いざ発生した際に地域の横の連携が重要度を増しています。

日頃から自宅等での自分の身を守るための自助、発生した場合にお互いを助け合う互助を心に留めておく、いざ災害発生時に落ち着いて行動出来る様に備えておきましょう。



雑記帳

りんごの世界では、黒星病防除農薬のDMI剤に耐性をもつ菌が松本で発見された。昨春秋より青森県でDMI耐性菌による黒星病が発生している。その菌が昨春秋以降に、県外から取り寄せたりんごの苗木で発見された。長野県農協では、その苗木を焼却処分している。幸いDMI剤以外の黒星病農薬を使うことができるので、現在青森県で発生中の黒星病が長野県内に飛び火しないよう、防除等に私も努めている。

シナノリップが今年初めて出荷された。これは四年程前に県の果樹試験場にて開発されたたりんごの新品種である。近年の温暖化に伴い早生の主力品種のつがるの色づきが悪くなっており、これに代わるものとして開発された。夏りんごとしては、糖度が高く甘みが強い。また、貯蔵性にも優れているとのことである。私の収穫したシナノリップもおいしかった。まだ生産量が少ないので、市場に出回るのには少ないが、徐々にシナノリップが店頭に並んでいくことを期待している。

